

とよた森林学校 2025

みんなで考える 森の歴史とミライ

かつて私たちが生きていくために必要であった森。
しかし近代化以降、生活から切り離され、遠くて忘れられた存在になりつつあります。
そんな森と人の関係性の歴史を学び、いまを知り、
これからの森のあり方（ミライ）を考えます。

第1回 「森の歴史」 2025年10月18日（土）9:30~15:30（足助地区森林ほか）

かつて私たちの暮らしを支えていた森が里山です。初回の講座では里山の歴史や特性と豊かさ、今日に至る変化を学びます。また、里山の樹木の代表的な利用法だった炭焼きの現場と炭の生産林、里山暮らしの体験館、現在も里山的な管理が行われている森を見学し、現在の里山が抱える課題や可能性を考えます。

第2回 「森のいま」 2025年11月8日（土）9:30~15:30（東京大学演習林）

里山と並び、人がつくり育ててきた森が人工林です。矢作川流域で生まれ、全国に広がった市民参加型の人工林調査「森の健康診断」の手法を用いて、人工林の健康調査を体験します。東海豪雨から25年間が経過し、豊田の人工林がどのように変化し、今後どのように変化していくと予測されるか考えます。

第3回 「森のミライ」 2025年12月6日（土）9:30~15:30（稲武地区森林ほか）

森のあたらしい活用方法、マウンテンバイクのトレイルを見学・体験し、先祖代々の広大な林を引き継いだ山主のお話を聞いて、山を持つことの意味を考えます。豊田市森林課が打ち出している新たな森林管理手法を知り、3回の講座で学んだ内容から、豊田市のミライの森の姿とその実現方法について議論します。

（文責：洲崎）

- 対象：森林を所有する方、森林に関心のある方
- 定員：15名
- 参加費：3,000円（3回分）

お申し込みは
こちらから →

